



サマー・オペラ モーツァルト・シリーズ「恋人たちの学校」(7月2日 ザ・カレッジ・オペラハウス)

2015年 創設100周年

## CONTENTS

ヴァイオリンの演奏家特別コースを新設 .....2

サマー・オペラ「恋人たちの学校」 ほか .....10・11

連載「校史点描」<14> .....	3
特別講義 ピアノ クラリネット .....	4
特別講義 声楽 金管楽器 邦楽 オーボエ .....	5
大阪音楽大学の催し .....	6
オペラハウスの催し .....	7
ミレニアムホール特別講座 .....	8
オペラ物知り講座 .....	9
岸本正史さんアジア・ユース指揮者に .....	12

古今東西音楽考 .....	13
石橋栄実助教が上海万博で熱唱 .....	14
オペ管 小学校でワークショップ .....	15
入試ナビ / はびきの市民大学聴講記 .....	16
なにわ芸術祭新人賞 森井美貴さん .....	17
Approach to Chopin 横田知子講師 .....	18
幸楽会 .....	19
ハワイ大学と交流演奏会 .....	20

大阪音楽大学は11年4月から音楽学部器楽学科弦楽器専攻に「ヴァイオリン演奏家特別コース」を設けます。演奏家特別コースとしては07年のピアノに続いて二つ目となります。

ヴァイオリン演奏家特別コースは国内外においてプロフェッショナルな演奏家として活躍出来る人材を育成することを目的とし、一般入学試験で募集します。また、公募推薦入学試験・特別推薦入学試験の合格者で、特別コースを希望する人にはコース変更審査も実施します。

同コースの専門教育科目（必須）は次の通りです。

【弦楽器特A・特A・特A・特A・特A・特A・特A・特A・特A・特A】  
・特A・特A・特A・特A・特A  
・特A 【学生の能力や適性を見ながら、演奏家としての基礎能力の育成に力を注ぎます。正確な譜読み、合理的で安定したテクニクスの確立、時代スタイルの理解と表現などを学修します。

**B** ・特B 【弦楽器特B ・特B ・特B  
・特B ・特B ・特B ・特B  
・特B】主にコンサートや

どうすれば演奏をアピールできるかを研究。指導教員は久合田緑教授、上塚憲一准教授、小森谷泉講師（ピアノ）らを中心に内外の一流アーティストを招聘します。

大阪音楽大学の10年度奨学制度（給付奨学金）決定通知書授与が6月10日、A号館会議室で行われ、中村孝義学長が35人（大学20人、大学音楽専攻科2人、短大7人、短大専攻科1人、大学院5人）に決定通知書を手渡しました。

この制度は08年度からスタート。09年度の学業成績によって選考された学生に支給。大学の場合は奨学金A 90万円、同B 45万円、同C

この他、専門合奏、オーケストラ、室内楽（弦）A・同B、室内楽（鍵盤）A・同B、同A・同B、実用外国語研究、卒業演奏、音楽理論、和声法、楽曲研究、西洋音楽史概説A・B、副科鍵盤楽器、同演習A・B、同A・Bなど。

これらを学修することで、ソリ  
**る人材育成**  
ストとして、室内楽奏者として、  
また、オーケストラ・プレイヤー  
として活躍できる演奏家を育てる  
ための授業を組み込んでいく予定  
です。

**上塚准教授の話** やる気のある学生が多いので、弦楽器を学ぶ学生のレベルを高め、本学の看板になる存在に育てていきたい。

**久和田教授の話** 芸術関係の大学で長い間、学生を育ててきましたし、長期間の留学経験もあります。演奏家特別コースを立ち上げるといふことで大音に呼んでいただきました。今までの経験、自分が勉強してきたことの集大成としてがんばりたいと思います。少子化問題はどこの大学も抱えていることです。特別な目玉を持つ大学にすることで、公立、私立の壁を破りたいと希望を持っています。

30万円。音楽専攻科は20万円。短大は同A 85万円、同B 40万円、同C 25万円。短大専攻科は20万円。大学院は1年生が50万円、2年生は100万円と50万円があり、今年度の対象者には50万円が支給されました。給付学生は次のみさ

【大正學堂金A】伏見千紗都（2年  
ピアノ）、根本みずき（3年、同）、比  
果沙織（4年、同B）櫻井奈月（2  
年、同）、京谷政樹（3年、音楽学）、  
小野文（同、ピアノ）、林佑子（4年、  
声楽）、大西康世（同、ピアノ）【同C】  
川上千尋、酒井麻衣、清水笙子、黄有  
希（いずれも2年、ピアノ）、栗脇紀奈

(3年 作曲) 西田安希(同 声楽)  
井上瑠衣子(同 ビアノ)、寺澤美樹(同  
サクソフォーン)、沖永紗織、濱田翔子  
林ゆかり(いずれも4年、ビアノ)、杉  
山恵梨(同、ウェアイオリン) 【音楽専  
攻科】白井直美(声楽)、平垣友里(ビ  
アノ)  
【短大奨学金A】康基勳(ポピュラ  
ーヴォーカル) 【同B】岩岡和姫(声  
楽) 【同C】植木久美子、内藤リコ(声  
楽)、河村遙(ビアノ)、吹田由香里(打  
楽器)、藤原恵理佳(電子オルガン) 【専  
攻科】大山瑞紀(声楽)

【大学院】松本栄成（1年、作曲）、奥坊由起子（同、音楽学）、井上いづみ（同、ピアノ）、中侑子（2年、オペラ）、山下真里子（同、サクソフーン）



# 校史点描

14

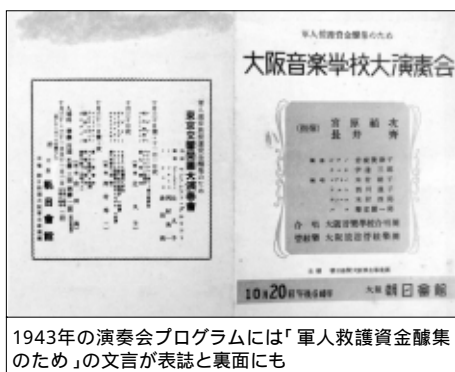
創立百周年に向けて

月26日、大阪朝日会館で開催されました。プログラムによると、「管弦楽 大阪音楽学校職員生徒」として、「未完成交響曲（口短調）第一楽章 シューベルト作」などがあります。32年（昭和7年）2月20日に同じ大阪朝日会館で開かれた「第3回」のプログラムには、「管弦楽 大阪音楽学校管弦楽部員『驚愕』交響楽 ト長調 ハイドン 第一楽章 第四楽章」、田中平三郎の指揮で全曲演奏。その4カ月後の6月8日に樟蔭高等女学

大阪音楽学校がオーケストラを初めて披露したのは1931年（昭和6年）の「第2回定期大演奏会」。翌年の「第3回」ではプログラムに「大阪音楽学校管弦楽部員」と刷られており、この頃がオーケストラの黎明期とみられています。また、第2回からは新聞社が後援し、収益金は福祉や社会事業などに充てられました。しかし、41年（昭和16年）暮れ、太平洋戦争に突入し、やがて戦火が激しくなると、この後援目的が大きく変わりました。（文中敬称略）

定期大演奏会の「第2回」は2

## 管弦楽団の黎明



1943年の演奏会プログラムには「軍人救護資金醸集のため」の文言が表誌と裏面にも

ては第2回から新聞社の社会事業団や名称変更した同厚生事業団がかかわっています。その中で、大阪音楽学校が創立25周年を迎えた39年（昭和14年）の第9回演奏会は大坂毎日新聞社の主催。2月19日に大坂中央公会堂で開かれたのですが、18日付の予告記事には、「注目の初公演 築立つフィルハーモニー管弦楽団」と2段見出し、

校（現大阪樟蔭女子大学）で催された演奏会は「大阪音楽学校管弦楽団」と名乗り、シューベルトの「ロザムンデ」序曲など3曲を披露しています。一方、演奏会の主催の多くは大阪音楽学校楽友会。後援団体とし

## 第2回演奏会で初披露

文中には「なかでも注目されるのはオーケストラが本格的な交響管弦楽団に成長して」とあります。また、本番の翌20日付の同新聞は、「誇る関西の音楽関心 全聴衆旋律の陶醉」と次のように報道しています。

## 創立25周年には「絶賛」

「早春の楽季をかざる清新なプログラムに定刻前聴衆は会場を埋め大阪においても音楽への真摯な関心が本格的であると深く感じさせる。永井校長の挨拶につづいてまず朝比奈隆氏の率いる大阪シンフォニック・オーケストラと下山田裕子女史のピアノによるショパンの難曲協奏曲第一（二短調）の華麗な演奏を待ってはじまり……」

また、後に大阪音楽大学講師も務めた音楽評論家の吉村一夫は同じ21日付紙面でこの定期演奏会を評論しています。

「大阪において最古の歴史を誇る大音も本年をもって25周年を迎えた。文字通り苦心経営の25年を振り返って永井校長の胸中万感の

去来するものがある。校長の大乗的な人格の力が大音を25歳の青年に育て上げたのである。音楽のアカデミーとして立派に指導的役割を果たし音楽学校ならでわの多彩なプログラムを以って埋められた当夜の演奏は全く記念すべき成果であった。永井校長を頭に長井育氏、朝比奈氏その他の有能な股肱を持つ大音の将来は、一層輝かしいものを約束される」

「明治の開花とともに滔滔と流れ込んだ西洋文化の一部門としての音楽を我々はまず受け入れて消化し、わが国の伝統的精神である和魂漢才を指導原理として、日本国民音楽を打ち立つべき大事業を控えた今日、些少な技術上の瑕疵を取り上げる時でない。この意味で全プログラムを管弦楽の伴奏をもつてし器楽、声乐のすべての部門にわたる曲目のバラエティの豊かさ、その効果において満足すべき水準に達していることは慶賀に耐えない」

この2年後に太平洋戦争が始まりましたが、翌42年の大演奏会のプログラムを見る限り、クラシック音楽の活動に変化はみられません。しかし、43年には演奏会の後援目的が福祉や社会事業から「軍人救護資金醸集のため」と、大きく方向転換しています。

## ピアノ

池田洋子  
客員教授



4月28日 F号館112教室

## 音色クリアに 指使いの指導も

池田洋子客員教授が、演奏家特別コースの学生を対象に、4月14日、28日、5月28日、6月9日にピアノ公開レッスンを行いました。4月28日の公開レッスンでは R・

シューマンの「ウィーンの謝肉祭の道化」を演奏した桑沢美南さん（3年）に、「第1楽章のアレグロは心ざわめく雰囲気。シンコペーションのリズムがどんどん追いかけてくる。4小節を区切らず一気に弾いて、最後はアゴーギグをきかせて音をためる。2楽章のロマンツェは、メロディーの流れを符点や拍を強調することで中断しないように」と、楽曲特有のキャラクターや、曲想にふさわしいアゴーギグのつけ方、音色をクリアに出すための特殊な指使いなどを指導しました。

## クラリネット

アントニオ・サイオテ氏  
Antonio Saiote



5月14日 O号館101教室

## しっかりした息で吹こう実践

ロンド」を演奏した井上舞香さん（大4）には、「テヌーは長いアクセントと考えて。クラリネットは下りるパッセージが難しい。しっかりつかむように」と指使いも指導しました。

た鷹羽萌子さん（大3）には、まず強くしっかりと息で吹くためのフィジカルなトレーニングを実践指導。「2楽章の旋律の出だしは、ピアニストと同時に出す、一瞬タイミングをずらすことでフランス歌曲風の洗練された味わい」と表現に磨きをかけました。

ポルトガルのポルト高等音楽院クラリネット科教授のアントニオ・サイオテ氏が、公開レッスンとミニ・コンサートを行いました。F・ブランクの「ソナタ」を演奏し

## 特別講義・公開レッスン

## ピアノ

ボリス・ベクテレフ氏  
Boris Bekhterev



5月11日 F号館112教室

## 楽譜の版によって違いを知る

ボリス・ベクテレフ氏が演奏家特別コースの2、3年生6人を対象に公開レッスンしました。同氏は欧州、米国、日本でコンサート活動。ソロのほか、オーケストラ、

室内楽との協演で絶賛され、現在は神戸女学院大学客員教授。指導を受けたのは加茂里織、根本みずき、桑沢美南（以上3年）、白藤望、今村理沙、櫻井奈月（同2年）のみなさん。R・シューマンの交響的練習曲作品13を弾いた白藤さんは受講後、「力強く、ある時にはロマンティックに弾き分けられるよう練習に励みたい」。加茂さんは「練習が足りていないと指摘されたのと、先生と私の持っていた楽譜の版によって、それぞれ違いがあることを知り、勉強になりました」と話していました。

## ピアノ

有森 博氏



5月21日 F号館112教室

## バラードはドラマ加え弾こう

所はテンポを速めるより、音楽の強さで盛り上げる。クライマックスは、あわてて雑音のように大きくなってショパンのロマンティックな音楽が失われないように弾くことが大事」などと指導しました。

第12回ショパン国際コンクールで最優秀演奏賞を受賞。現在東京芸術大学准教授をつとめるピアノスト、有森博氏が5月21、22日に公開レッスンを行いました。

21日にF・ショパンのバラードを演奏した乾将万さん（大1）には「バラードは物語が伝わるような自分の印象に残るドラマを加え、変化をつけて弾く」とい。第一音は上から力でストレットに弾くのではなく、鍵盤の面積を広く使ってピアノの奥からじわーっと響かせるように。アダージョの個性はテンポを速めるより、音楽の強さで盛り上げる。クライマックスは、あわてて雑音のように大きくなってショパンのロマンティックな音楽が失われないように弾くことが大事」などと指導しました。

声 楽

ロバート・ハニーサッカー氏  
Robert Honeysucker



6月11日 ミレニアムホール

ム・コーチとして活躍しています。安田氏は公開レッスンに先立ち、米国のオペラ界における若手歌手育成システムについて語りました。公開レッスンでG・ビゼーの「カルメン」から「何を恐れることがありましよう」を歌った臼井直美さん（大専）は、「ミカエラは優しい女性ですから、フォルテでも

フランスの作品はスマートに

威圧的な歌い方にならないように。

米国のバリトン歌手、R・ハニーサッカー氏が、公開レッスンを行いました。ピアニストをつとめたのは夫人の安田紀子氏。本学出身で、現在米国でオペラプログラ

フレーズの終わりは息を止めず、リリース（解放）してください。フランス作品を歌うときは音が跳躍するときに、声をずり上げずスマートに」と指導を受けました。

金 管 楽 器

レックス・マーティン氏  
Rex Martin



6月15日 号館201教室

頭の中にイマジネーションを

習をする時の取り組みとして「イマ

テューバ奏者として、クリニッシャーンとして世界中を駆け巡るレックス・マーティン氏がユーフォニウムやテューバ専攻生を対象に公開レッスンしました。レッスン

を受けたのは江幡遙祐さん（大4・ユーフォニウム）、富永達也さん（大4・テューバ）ら4人。「演奏することはとても複雑なこと。その複雑なことをすべて叶えることはできません。すばらしい演奏家の、すばらしい音質を頭の中に思い浮かべ、その音を真似てください」。マーティン氏は練習をする時の取り組みとして「イマ

特別講義・公開レッスン

箏・三 絃

深海 さとみ氏



6月15日 ミレニアムホール

流派異なる3名手が二曲合奏

が宮城道雄の「春の海」で公開レッ

箏・三絃の演奏家、作曲家として活躍し、東京芸術大学講師をつとめる深海さとみ氏が特別講義を行いました。講義は深海氏の自作「秋風幻想」の箏独奏で始まり、

スンを受け、指先だけでなく全身で爪音を響かせる姿勢やフレージングを指導されました。最後に邦楽専攻生と音楽学専攻生が深海氏とテンプルを囲み対談しました。

オーボエ

ダビッド・ワルター氏  
David Walter



7月5日 ミレニアムホール

1日1回は最後まで吹くこと

い。H・デュー

オーボエと室内楽でバリ国立高等音楽院の1等賞を得た後、アンコーナなど5大国際コンクールで入賞。室内楽ではモラゲス木管五重奏団の創設時（1980年）か

らのメンバー。公開レッスンを受講したのは小柳利恵さん（大3）と西阪里美さん（大4）。R・シューマンの「アダージオとアレグロ 変イ長調 作品70」を吹いた小柳さんには「部分練習ばかりしていると全体を通した時、うまくいきません。1日1回は最後まで吹き切る練習をしてください。H・デュー



## 8月・9月・10月 学校法人 大阪音楽大学の催し

8月1日(日) 10時	指導者研修 ピアノ(基礎編) F号館215教室 講師 植田定和 ほか	10月9日(土) 14時	卒業生による「若い芽のコンサート」 MH 出演 生川真弓 辻合佑璃 田久保友妃 植田祐加里 ほか
8月1日(日) 10時	指導者研修 ソルフェージュ D号館201,212教室 講師 和泉耕二 長谷川慶岳	10月9日(土) 15時	指導者研修 打楽器 K号館212教室 講師 北野徹
8月2日(月) 10時	指導者研修 ピアノ(基礎編)(応用編) 大阪音楽大学 講師 植田定和ほか(基礎編) 浅井康子ほか(応用編)	10月9日(土) 18時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC大阪南港サンセットホール 出演 大島弥州夫 大西隆弘
8月3日(火) 10時	指導者研修 ピアノ(応用編) F号館215教室 講師 浅井康子 ほか	10月11日(月) 11時	オープンキャンパス 大阪音楽大学
8月5日(木) 10時	指導者研修 幼児音楽 C号館401教室 講師 井本英子 清水晶子	10月12日(火) 17時	第5回ミレニアムピアノコンサート MH 出演 小川裕子 富樫三起子 木村直美
8月6日(金) 10時	指導者研修 幼児音楽 K号館 講師 井本英子 清水晶子 松村公彦	10月16日(土) 15時	指導者研修 打楽器 K号館212教室 講師 北野徹
8月7日(土) 10時	指導者研修 幼児音楽 K号館 講師 井本英子 清水晶子	10月18日(月) 18時	第26回ミレニアム・スチューデント・コンサート 第一夜 MH 出演 選抜学生
8月20日(金) 11時	高校生のためのオペラ講座 大阪音楽大学 講師 中村敬一 荒田祐子 田中由也 ほか	10月20日(水) 18時	第26回ミレニアム・スチューデント・コンサート 第二夜 MH 出演 選抜学生
8月21日(土) 11時	高校生のためのオペラ講座 OH 講師 中村敬一 荒田祐子 田中由也 ほか	10月21日(木) 18時	第26回ミレニアム・スチューデント・コンサート 第三夜 MH 出演 選抜学生
9月8日(水) 10時	ガムラン・ワークショップ 音楽博物館 講師 スダマニ民族音楽団 小林江美	10月22日(金) 14時	大阪音楽大学公開講座「音楽の宝宝箱」 高槻市立生涯学習センター 講師 西垣俊朗
9月11日(土) 18時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC大阪南港サンセットホール 出演 川下喬子 矢崎真理	10月22日(金) 18時	第26回ミレニアム・スチューデント・コンサート 第四夜 MH 出演 選抜学生
9月18日(土) 14時	ミレニアムホール特別講座『時代と国境を越えるギター』 MH 講師 日下部吉彦 演奏 藤井敬吾 今村隆之	10月23日(土) 15時	指導者研修 打楽器 K号館212教室 講師 北野徹
9月30日(木) 17時	第4回ミレニアムピアノコンサート MH 出演 平山善恵 永井正幸 横田知子	10月27日(水) 18時	第7回ザ・ローレル・コンサート OH 出演 松本栄成 小林峻 福田容子 藤田紗織
10月2日(土) 15時	指導者研修 打楽器 K号館212教室 講師 北野徹	10月29日(金) 14時	大阪音楽大学公開講座「音楽の宝宝箱」 高槻市立生涯学習センター 講師 小牧万須美
10月5日(火) 18時30分	オペラ物知り講座『プロデューサーの仕事』 MH 講師 中村敬一 ゲスト 上原恵美	10月30日(土) 14時	20世紀オペラブレイク&映画上映会 MH プレゼンター 中村敬一 大勝秀也 荒田祐子

OH / オペラハウス MH / ミレニアムホール

## ミレニアムホールの催し

2010年度ミレニアムピアノコンサート  
～ピアノ教員による演奏会～

## 第4回 9月30日(木)17時 入場無料



平山 善恵 永井正幸 横田知子

平山 善恵  
R.シューマン:ピアノソナタ  
第3番 ヘ短調 作品14  
永井 正幸  
F.リスト:ピアノソナタ Ⅱ短調 S.178  
横田 知子  
F.ショパン:ピアノソナタ 第3番  
Ⅱ短調 作品58

## 第5回 10月12日(火)17時 入場無料



小川 裕子 富樫三起子 木村直美

小川 裕子  
S.ラフマニノフ:「音の絵」作品33 作品39  
富樫三起子  
A.ベルク:ピアノソナタ  
第1番 作品1  
C.ドビュッシー:『版画』  
木村 直美  
F.シューベルト:幻想曲  
ハ長調「さすらい人」D.760

## 第6回 11月2日(火)17時 入場無料



大竹 道哉 鳥居知行 木村綾子

大竹 道哉  
R.シューマン:クライスレリアーナ  
鳥居 知行  
J.ブラームス:ヘンデルの主題による  
変奏曲とフーガ 作品24  
木村 綾子  
F.ショパン:バラード 全4曲

**訂正** 前号に掲載した第3回ミレニアムピアノコンサートの曜日に誤りがあり、7月1日(火)と掲載いたしました。正しくは7月1日(木)でした。お詫びして訂正いたします。

## ザ・カレッジ・オペラハウスの催し



2009年度大阪音楽大学音楽学部最優秀賞受賞者演奏会

### 第7回 ザ・ローレル・コンサート

10月27日(水)18時 入場料1000円 全自由席



松本栄成



小林 峻



福田容子



藤田紗織

作曲学科 最優秀賞 松本栄成

-Od- Vol. pour ensemble、新作初演

声楽学科 最優秀賞 テノール 小林 峻

G.ビゼー:交響的頌歌「ヴァスコ・ダ・ガマ」より 心を開いておくれ

F.シューベルト:小人 D.771(作品22-1)

C.グノー:歌劇「ロミオとジュリエット」より 愛!愛だ!~ああ!昇れ太陽!  
他 ピアノ 下村沙織(大学院2年)

器楽学科ピアノ専攻 最優秀賞 福田容子

F.シューベルト:ピアノ・ソナタ 第20番 イ長調 D.959

器楽学科管楽器専攻 最優秀賞 フルート 藤田紗織

C.サン=サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28

P.タファネル:A.トマの「フランチェスカ・ダ・リミニ」による幻想曲

R.ムチンスキー:フルートとピアノのためのモーメント 作品47  
ピアノ 三浦横子(大学院2年)

第46回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ

原作:テネシー・ウィリアムズ

作曲:アンドレ・プレヴィン

### 「欲望という名の電車」(原語・英語上演 字幕付)

11月12日(金)18時 11月14日(日)14時 全指定席

入場料 一般7000円 シルバー6000円 小・中・高校生3000円

\*幸楽会、付属音楽院会員はシルバー料金と同額とします。

指揮 大勝秀也 演出 中村敬一 制作統括 荒田祐子



松田昌恵



石橋栄実



藤村匡人



小餅谷哲男

#### キャスト

プランチ	松田昌恵	ステラ	石橋栄実
スタンリー	藤村匡人	ミッチ	小餅谷哲男
ユーニス	野間直子	スティヴ	松岡重親
若い集金人	諏訪部匡司	メキシコ女	西村 薫
医師	木村孝夫	看護婦	植田加奈子
パブロ	池森庸祐		
管弦楽	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		

### オペラ・プレトーク&映画上映会 開催

「欲望という名の電車」の見どころ、聴きどころ

10月30日(土)14時 ミレニアムホール 入場無料

プレゼンター:大勝秀也 中村敬一 荒田祐子

## College Information

### 第40回 ミレニアムホール特別講座

『時代と国境を越えるギター』

9月18日(土) 14時 ミレニアムホール

プロデュース・講師 日下部 吉彦

演奏 ギター 藤井 敬吾 今村 隆之

演奏曲 タレガ:アルハンブラ宮殿の思い出 ほか

受講料 1000円 \*事前の申し込みが必要です。

### オペラ物知り講座 第6期

第3回 プロデューサーの仕事「びわ湖ホール前館長~上原恵美さん」

10月5日(火)18時30分 ミレニアムホール

講師 中村敬一 ゲスト 上原恵美(びわ湖ホール前館長)

演奏 バリトン 西田昭広 ピアノ 佐藤明子

受講料 1000円 \*事前の申し込みが必要です。

<申し込み・問い合わせ> エクステンション・センター

☎06-6334-2251 FAX06-6334-2542

### 卒業生による『若い芽のコンサート』

10月9日(土)14時 入場料500円 ミレニアムホール

ソプラノ 足立有美 ピアノ 中林美奈 ピアノ 生川真弓

サクソフォーン 堀田温義 ピアノ 竹内愛未

フルート 辻合佑璃 ヴァイオリン 田久保友妃 ピアノ 植田祐加里

ピアノ 相地愛子

### 大阪音楽大学公開講座

「音楽の宝石箱」~様々な輝きとの出会い

10月22日(金) 講師 西垣俊朗 10月29日(金) 講師 小牧万須美

11月12日(金) 講師 赤松二郎 11月19日(金) 講師 木村孝子

11月26日(金) 講師 宇野友基子 関口康祐

時間 14時~15時30分 会場 高槻市生涯学習センター 多目的ホール

受講料 4000円(全5回) 1回のみ1000円

申し込み・問い合わせ 高槻市生涯学習センター ☎072-674-7700

### 2011年度オペラ オーディション

11年度サマー・オペラ「魔笛」

11年度サマー・オペラ、モーツァルト「魔笛」(原語上演)に出演するソリストのオーディションを行います。

公演日:2011年7月8日(金)・10日(日)

指揮:大勝秀也 演出:岩田達宗

オーディション日程:2010年11月23日(火・祝)

または11月22日(月)

11年度20世紀オペラ「ねじの回転」

11年度20世紀オペラ、ブリテン「ねじの回転」(原語上演)に出演するソリストのオーディションを行います。

公演日:2011年10月14日(金)・16日(日)

指揮:十束尚宏 演出:岩田達宗

オーディション日程:2010年10月11日(月・祝)

応募資格:本学卒業生、本学関係者

詳細は応募要項をご覧ください。ホームページからダウンロードしていただくか、オペラハウスまたはコンサート・センターでお渡しいたします。郵送可。80円(定型)/120円(定形外)切手を貼り、住所・氏名を記入した封筒をオペラハウスにお送りください。発送の都合上、2つのオーディションに応募する場合は、封筒は2つご準備ください。

問い合わせ・送り先 大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス

オペラ・オーディション係

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

☎06-6334-2824(コンサート・センター内)

FAX06-6334-2164

受付時間 9時~17時(平日) 9時~15時(土曜)

なお8月は休館日もありますので、ご注意ください。

URL: <http://daion.ac.jp>

マンは、ピアノの先生の娘、クララと再会します。恋の炎が燃え上がり、彼の心は明けても暮れても「クララ、クララ」。シューマンは義父の強い反対を押し切って1840年に結婚します。彼が30歳クララ21歳。その年は「シユーマ



### ミレニアムホール特別講座

## シューマン愛の歌曲集

講師 日下部 吉彦

6月12日 ミレニアムホール



今年はシューマン生誕200年、「シユーマン歌の年」から170年の年に当たります。20代のは「子供の情景」などピアノ曲ばかり書いていた彼は、ある日を境に歌曲に没頭します。演奏旅行から帰ってきたシユー

この日は丸山耕路さんのピアノで、ソプラノの加藤かおりさん、バリトン小玉晃さんが「ミルテの花」「リダーークライス」など4つの連作歌曲集から22曲を熱唱。満席の会場はシューマンの魅力に酔いしれました。

## 「歌の年」恋の炎燃え138曲

ン歌の年」といわれ、一年間に書いた歌曲は138曲に上ります。「ミルテの花」(全26曲)結婚前夜にシューマンがクララに贈った曲「女の愛と生涯」(全8曲)幸せの絶頂、そして絶望。シューマンの作品の中には、こうした要素がいつも影を潜めています。「詩人の恋」(全16曲)男性の生涯を歌った曲。恋と失恋。最後は愛も歌も、棺に入れて流してしまいたい、と歌います。「歌の年」が終わった後のシューマンは、シンフォニーや室内楽曲など器楽曲の方向に向かいます。精神病を患い、ライン川に身を投げ自殺を図ります。病氣は治らず、1856年に46歳でこの世を去ります。一方、クララは長生きし、8人の子どもを立派に育て上げます。二人のお墓はドイツのボンにあり、今も一緒に眠っています。

## 社会人オペラ講座 42人晴れ舞台

プロのオペラ歌手や演出家が指導する「一般社会人のためのオペラ講座」。6年目を迎えた今年はアリアコース18人、アンサンブルコースに24人が受講、最終日の6月17日にはザ・カレッジ・オペラハウスの舞台に立ち成果を披露しました。

講座は5月13日から6月17日まで計5回開かれ、声楽の安藝榮子、福島慶子講師、演出家の中村敬一講師らが楽譜



の読み方、発語の仕方、演技の基礎などについて指導しました。曲目はアリアコースがV・ベッリーニ「カプレーティ家とモンテッキ家」より「ああ、幾たびか」など、アンサンブルはG・ヴェルディ「椿姫」より「パリを離れて」など。

最終日のオペラハウスでは、加藤完二講師が指揮、中侑子さん(院2)ら4人が助演を務めました。皆さんカラフルな衣裳を身に付け、オペラの醍醐味を存分に味わっていました。





# オペラ物知り講座 第6期

お話 中村敬一講師



音響デザイナー

小野隆浩さん



オペラ物知り講座「裏方さんシリーズ」の2回目は「音響デザイナー」。びわ湖ホールで仕事をする音の魔術師・小野隆浩さんの登場です。「出演者にオレって天才、と思わせることが私の仕事」という小野さんはこの世界の第一人者。ゲストの清原邦仁さん(テノール)、西尾麻貴さん(ピアノ)にもさまざまな実験に参加してもらい、音の仕組み、客席により良い音を届ける秘密に迫ります。

## 小野隆浩さんのプロフィール

現在、びわ湖ホール所属。主としてオペラやクラシックコンサート、劇場音響コンサルタントなどを手がける。建築音響的手法と電気音響の効果的使用による音響表現は、劇場空間に自然な響きをつくり出し、その芸術的表現力には定評がある。第3回出光音楽賞、第2回日本音響家協会賞受賞。著書に「オペラと音響デザイナー」(新評論)

わり、それによ  
つて心地よく感  
じます。オーボ  
エとクラリネッ  
トを比べると、  
オーボエの方が  
雑味成分が多  
く、音としてき  
れいに聞こえま  
す。歌い手さん

の声もそうで、  
倍音と雑味の成  
分が音色になり、  
声の魅力になり  
ます。  
ちなみに演奏前のチューニング

A(ラ)の音の周波数は440Hz。  
世界中、国や人種に関係なく赤ちゃ  
んが最初に出すオギャーの声も4  
40Hzといわれています。  
《実験2 清原さんの声を分析》  
波形測定器で清原さん清原さん  
の歌を分析します。歌はミュージ  
カルナンバー「ウエストサイド  
ストーリー」の「マリア」。  
「清原さんの声、さすがですね。  
高い音は倍音や雑味の成分がすこ  
く広がっていました。倍音の成分  
が多いと、このようにきれいな声  
が遠くまで届くんです」

海外での経験豊かな小野さん  
は国内での音響の草分け。92年に  
は第3回出光音楽賞を受賞してい  
ます。音響家と紹介しましたが、  
それでいいのでしょうか。  
「音響家といえば、マイクとス  
ピーカーを駆使して音をクリエー  
トするイメージが強い。私は人と  
違ったアプローチの仕方をしてお  
り、自分では音響デザイナーとい  
う言い方をしています」

小野さんはこの日、声の波形を  
測る装置など、いろんな器具使っ  
て話を進めます。

## 《実験1 聞こえる音の違い》

清原さんには舞台を移動しなが



らモーツァルト  
のオペラ「フィ  
ガロの結婚」の  
バジリオのアリ  
アを歌ってもら  
います。舞台の  
隅、客席、ピア  
ノの下にもぐり  
込んで。  
いかがでし  
たか。歌う場所によって音が違  
いましたよね。



「反響板がないオペラの舞台で  
はすべての音が跳ね返ってくるわ  
けではありません。音のムラを少  
なくする、これが音響デザイナー  
の仕事です」

混じり気のない音のことを純音  
といいます。音叉や電話の時報も  
純音。倍音の成分だけの混じり気  
のない音です。

「楽器は純音にいろんな音が加

## ストレス感じさせたら負け



## 《実験3 舞台の上を体感》

客席と舞台での音はかなり違い  
ます。歌い手にどのように聞こえ  
ているのか、舞台上に上がり体感し  
てみてください。歌はブッチーニ

の「トスカ」から「星は輝きぬ」。  
「舞台の上ではピアノの音が聞  
こえづらいでしょう。こんな悪状  
況の中で、歌い手さんにいかにし  
て「オレって天才」と思わせるか。  
これが私のすべてです」

最後に、音響デザイナーにと  
って大切なこととは何ですか。

「舞台の上は幕だらけ。セット  
もあります。声が吸われ、どこか  
に行っちゃっている。歌い手の声  
をマイクで拾って客席に返すので  
はなく、補正しているんです。演  
奏家が一番いい状態で歌えるよう  
な空間を舞台上に作り、客席に声  
がバランスよく届くようにしてあ  
げることです。歌い手にストレス  
を感じさせたら私たちの負けです」



## Così fan tutte の学校 ワルト・シリーズ

オペラハウス合唱団  
オペラハウス管弦楽団  
西 聡美  
小田 恵一



「ワルナ愛しか知らな  
知り、相手を許す本  
を描きたかった。合唱  
ミカルに演じてもらい

「サマー・オペラ」恋人たちの学校」が  
7月2日、4日、ザ・カレッジ・オペラハウ  
スで上演されました。美しい姉妹の愛  
の堅固さを、老哲学者にそそのかされ、  
恋人が変装して試すストーリー。侍女  
は恋の指南役。キャストは並河寿美、北  
野智子、小餅谷哲男、晴雅彦、木村孝  
夫、田邊織恵のみなさん。



## 小粋でエレガント



**指揮・大勝秀也さん** 僕はスコアから下手を  
すると埋もれてしまうテーマや表現を見つけ出す  
のが好きで、今回も活用しました。歌手の方々は  
ベテランと若手が高め合い、抜群のチームワーク  
でした。

## フェスティバル2010



ンを演奏した山田聖華さん(院2)は、「指揮  
者がウィーン国立音楽大学の方で、シュトラウ  
スのワルツを演奏したとき、とてもこだわりを持  
っている印象を受けました。外国の方と一緒に  
演奏できる機会はめったにないので、楽し  
かったし勉強になりました」と話していました。  
**主催・写真提供** 財団法人ロームミュージッ  
クファンデーション **撮影** 佐々木卓夫

## 大阪音楽大学大学院演奏会2010 第18回Masters Concert



「大阪音楽大学大学院演奏会2010」が7月8日、ザ・  
カレッジ・オペラハウスで開かれました。出演はオーデ  
ィションで選ばれた大学院生3人(いずれも2年)。小  
田野宏之特任教授の指揮で、オペラハウス管弦楽  
団と共演しました。

## 気持ちよく歌えました

R・シューマンの「ピアノ協奏  
曲 イ短調 作品54」を演奏した三  
浦槇子さん「自分なりに物語をつ  
くり、心の叫び、愛の語らいを表  
現しました。オーケストラとの掛  
け合いをどうしたらいいのか、随  
分苦しみましたが、本番は、やつ  
た」って感じ。楽しく歌えました」



A・K・グラズノフの「アルト・  
サクソフォーン協奏曲 変ホ長調」  
を演奏した山下真里子さん「パ  
リに亡命したグラズノフ最晩年の  
作品。重過ぎず、さらっと歌うと  
ころをつくったりして、ロシアの  
重々しさ、フランス音楽のような  
鮮やかな色彩感を表現しました」



G・プッチーニの歌劇「蝶々夫人」  
のアリア「ある晴れた日に」など  
3曲を歌ったソプラノ中侑子さん  
「本番で初めてオケに合わせるこ  
とができました。壮絶な人生を送  
った3人の女性の思いを力の限り  
表現しました。これで心置きなく  
フランスへ行くことができます」







## 吹奏楽ワークショップ



大阪音楽大学の吹奏楽ワークショップが6月13日に催され、雨の中、19校の中学生555人、指導教員ら22人、13校の高校生436人(同13人)が参加。生徒らはクラリネットやサクソフォンなど各パートに分かれ、教室で受講。この間、指導教員らは

た楽器です。木管楽器と金管楽器の中間の橋渡しができます」と話し、実技指導していました。西宮市から来た中学2年の女生徒(アルト・サクソ)は、きれいな音を出すために音の強弱などの指導を受け、大変参考になりました。これからもしっかり勉強していきます」と話していました。

### 中・高校生990人参加

オペラハウスで丸谷明夫特任教授の講演、魅力あるバンド活動」を聞きました。ワークショップは午前が中学生、午後は高校生で、指導にあたった教員は36人。B号館102教室では、赤松二郎教授(サクソフォン)が初心者クラスを担当、サクソフォンは170年くらい前に発明され



ら、庭園や姉妹の部屋に早変わり。モーツァルトの均整のとれた音楽さながら、シメトリックな人物の動きが優雅です。フィオルテリ(ジ・並河)の豊麗な声と、ドラベツ(北野)の清々しい声の二重唱をはじめ、フィナーレの躍動感あふれる六重唱は圧倒的。管弦楽は緩急の落差や巧みなアーティキュレーションで、登場人物の心のときめきやざわめきを映し出し、小粋でエレガントなモーツァルトを聴かせました。



## 豊麗と清々しさ



ドラベツ役でオペラハウスデビューした北野智子さん 卒業以来オペラハウスの舞台に立つのが夢でした。栗國さんにイタリア語の細かいニュアンスまで指導していただき納得して演じられました。



## 恋人たち

サマーオペラ モーツ

指揮 大勝 秀也  
演出 栗國 淳  
合唱 ザ・カレッジ・オペラ  
管弦楽 ザ・カレッジ・オペラ  
通奏低音 チェンバロ  
チェロ 上塚



演出・栗國淳さん フォーかった姉妹が情熱的な恋を当の愛に目覚めるプロセスを団には男女の現実の姿をコました。

## 京都・国際音楽学生

古都・京都に世界の音楽学校から選ばれた学生たちが集い、演奏を通じて交流する京都・国際音楽学生フェスティバル2010が、5月22日から26日まで府民ホール・アルティで開かれました。今年はパリ国立高等音楽院、ウィーン国立音楽大学など名門21校が参加。本学からは6人の院生、専攻科生、4年生がフィナーレのオーケストラに参加しました。ヴァイオリ





## テューバ国際大会



写真上はゲスト・アーティストとして演奏する中村講師。下は主催者のKelly Thomas氏と談笑

## 中村講師らゲスト出演

世界ユフオニウム・テューバ協会主催の国際大会が5月23日から29日までアメリカのアリゾナ大学で開かれました。本学からはテューバ奏者の中村一廣講師や学生卒業生ら18人がゲスト・アーティストとして参加、各国のソリストや大学教授の前で演奏し、高い評価を受けました。

この協会は国の垣根を越えて楽器改良、教授法、奏者の技術向上などを目指して73年に設立。その後は2年に一度大会を開き、90年には札幌でも開催されました。大会中は有名ソリストによる公開レッスンや大学教授の講義、リサイタルなどがあり、今年は15カ国から600人が集いました。

## 「素晴らしい演奏」と賞賛



世界のソリストたちの前で演奏

リサイタルには世界の16大学が参加。日本の曲を紹介するためソリストとして招待された中村講師は井潤昌樹さんの委嘱作品「詩曲 飛べない」(世界初演)など4曲を演奏。飯田裕貴さん(院1・

ユフオニウム)、東豊章さん(大4・テューバ)ら17人で編成した大阪音楽大学アンサンブルは田中裕一さん(04年大卒・テューバ)をソリストに「ルーマニア舞曲第2番」など5曲を披露しました。「演奏後、君たちの演奏が一番よかった。あの曲はどこで手に入るのか教えて欲しい」と聞かれた中村講師。「最高の褒め言葉をいただきました。一流の演奏者とも交流ができ、指導法などで新しい発見もたくさんありました」。プ口的オーケストラ奏者を目指す東さんは「偉大な奏者の音や話を聴くことで、世界レベルを体感しました。この経験を今後の活動に生かしていければ、と思います」。

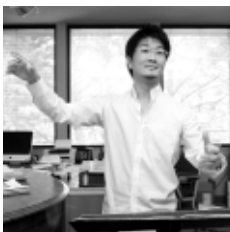
## アジアユース合唱団

## 岸本正史さん

米ノースダコタ州立大学の大学院博士課程で合唱指揮の勉強をする本学卒業生の岸本正史さん(02年院修・声楽)が7月にフィリピンで開催される「アジアユース合唱団」のゲストコンダクターとして参加することになりました。

アジアユース合唱団は、新潟県が主催するアジア文化祭のミュージックセッションの一つで98年に

## 指揮者に抜擢



ノースダコタ州立大学で

イリピンで開催されます。声楽家を目指していた岸本さんになぜ、白羽の矢が。本学大学院修了後、オーストラリアに留学し

リット・オラトリオを学んでいた岸本さんは、この時ある教授との出会いがきっかけで指揮者としての道を選びます。米マンスフィールド大学大学院に進み合唱指揮の学位を取得。現在はノースダコタ州立大学の大学院博士課程で研鑽を積みながら合唱と声楽の授業を持つています。同合唱団の生みの親、東京混声合唱団常任指揮者の松原千振氏は「彼は合唱指揮を学問として位置付けるためがんばっています。豊かな経験と実績が評価されたんで

しょう。大いに期待しています」。今年のアジアユースにはオーディションで選ばれたアジア6カ国の18歳から28歳までの40人が参加。7月21日から31日までボホール島やセブ島で合宿をしながら演奏旅行をします。岸本さんは「さまざまな国の音楽や文化、言語を体験できる素晴らしいチャンス。いろんな出会いを楽しみにしています」。声楽から合唱指揮へ。可能性はまだまだ膨らみます。(フィリピンでの詳細は次号に掲載します)

シューマンの  
隠れた名曲  
西村 理

テの教養小説「ヴィルヘルム・マ  
シューマンは10代の時からゲー  
第5日 6月23日



やっぱり、ショパン!  
油井 美加子

ポーランドに移り住んだフラン  
ス人の父とポーランド人の母を持  
第3日 6月16日



意外と知られていない  
吹奏楽の世界  
高 昌帥

吹奏楽のルーツはトルコの軍楽  
隊。ヨーロッパでは祝典の野外音  
第1日 6月9日



イスターの修業時代」に親しんで  
いました。彼は、何度もこの小説  
を読み直し、ゲーテ生誕100年  
の1849年に「ゲーテの『ヴィ  
ルヘルム・マイスター』による歌  
曲集」を作曲します。解説の後、  
中村展子さんのピアノで松田昌恵  
准教授、小玉晃講師が09年に出版  
された新全集の楽譜を使って「隠  
れた名曲」を全曲演奏しました。

つショパンは今年が生誕200年。  
しかし、誕生日は1809年3月  
1日、翌10年3月1日、同2月22  
日の3説があります。  
14歳で音楽家として自覚します  
が、多才で漫画を描くのも得意。  
また、思想家でもあり「最高の先  
生は自分の耳。自分の耳が許す音  
楽だけが音楽である」と言うほど  
自信家だったことなど、おなじみ  
の曲を演奏しながら解説しました。

楽として生まれ、米国では市民に  
よるバンド・ブームが興りました。  
一方日本の吹奏楽人口は約100  
万人。学校でも吹奏楽部の活動が  
盛んで、吹奏楽コンクールは演奏  
レベルの向上に貢献しています。  
その課題曲に選ばれることは、若  
手作曲家にとって大きなチャンス。  
吹奏楽は今や新しい音楽を生み出  
す可能性を秘めたフィールドです。

## 「古今東西音楽考」(その25)

主催 大阪音楽大学  
共催 大阪府

イタリアからの  
新しい風  
本岡 浩子

独特の音色を奏でる鍵盤楽器チ  
エンバロはバロックオペラ発祥の  
第6日 6月25日



打楽器の魅力  
葛西 友子

からりと明るく軽快なサンバ・テ  
イコティコ。マリンバのトレモ  
第4日 6月18日



モーツァルトの  
オペラ  
晴 雅彦

オペラ「魔笛」より『おいらは  
鳥刺し』などを演奏員の矢崎真理  
第2日 6月11日



地イタリアで隆盛を極め、やがて  
ヨーロッパ各地に新しい風を吹き  
込みます。  
本岡教授は25年前に学生たちと  
作ったイタリアン・チェンバロを  
会場にセット。嵯峨山庸子講師の  
バロック・ヴァイオリンも加わり、  
イタリア初期バロックの力強い響  
き、それに魅せられたイギリスや  
ドイツの音楽を紹介しました。

口が夢見るようにやわらかい「小  
さな祈り」。太鼓のリズムが大地  
のパワーを伝える「トリオパーウ  
」。パフォーマンスがコミカル  
な「熊蜂の飛行」。舞台上並ぶピ  
ブラフォン、ジャンベなど数々の  
打楽器を紹介しながら、葛西講師  
と吉川朋子さん、瀧住まどかさん、  
山縣雅志さんが楽しいアンサンブ  
ルを繰り広げ、サラダボールやホ  
ースまで打楽器に変身させました。

さんの伴奏で披露。代表作「フィ  
ガロの結婚」を取り上げ、ユーモ  
アたっぷりに説明しました。  
このオペラが作られた約250  
年前は王侯貴族が絶対的な権力を  
持っていたのですが、結果的に庶  
民のフィガロやサンヌに負けて  
しまふ。モーツァルトはこの時代  
に何を世の中に訴えようとしてい  
たのか、考えさせる作品です。

# 石橋栄実さん中国語で熱唱

## 日本華楽団と上海万博に招かれ

オペラ歌手の石橋栄実助教(ソプラノ)が中国・上海万博で、演奏した日本華楽団(龔林芸術総監督・指揮)のソリストとして出演、現地の有力紙から「彼女の歌唱はまるで磁石のように観客の心をひきつけた」と絶賛され、テレビのニュースでも放映されました。

日本華楽団は上海出身の龔林氏が「日中音楽交流」「新しい東洋音楽の創造」を理念に97年に中国伝統楽器を用いた日本人メンバーによるオーケストラ「華夏」を創立。さらに01年、プロをめざす「日本華楽団」として発足させたもので、現在の団員数は約80人。

日本華楽団は上海万博で演奏を依頼され、団員54人と石橋助教、それにザ・カレッジ・オペラハウス合唱団登録正団員のテノール歌手、松本薫平さんらが参加。このほか、指揮者の西本智実さん(94年大卒・作曲)の母親ひろみさんが総合プロデューサーで、角地直子さん(92年大卒・声楽)が講師を務める合唱団「大正フロイデ」(大阪市大正区)の40人に加え総勢96人が上海万博開幕直後の5月

3日から6日まで訪中しました。演奏会は4日と5日にアジア広



磁石のように心から引きつけられたと報じられた石橋栄実助教

### 西本智実さんの母ひろみさんも

場と世博中心大会堂で開催され、石橋助教は「我愛你中国」を中国語で歌いました。地元「文匯報」は石橋助教について「彼女はベル・カント唱法で中国民族楽器の楽団と見事に歌った。透明感ある、甘くて美しい声、そして非常にきれいな中国語。発声と発音がすばら

## 合唱団を指揮

曲を演奏。角地さんが着物姿で「我愛你中国」のピアノ・末吉淳子さん(94年大卒)を披露しました。西本さんは「中国語であじうしました。本当に友好的で、雨にもかかわらず、大勢の人たちが会場に詰め掛け、熱心に聴いてくれました」と話していました。

しく、その瞬間、観客は驚き、そして感動した(5月6日付)

また、解放日報は「2人の日本からの声楽家(石橋助教と松本さん)は発音を一字一句丁寧に、真面目に訓練した。また、中国語の先生による発音の録音を聞きながら、毎日練習に励んだ。それが今日の成果につながった。最初の一声でまるで雷のような拍手がおこった」と報じています(同日付)。

石橋助教は「我愛你中国」は中国では有名な曲で、前奏が鳴るだけで歓声上がるほどでした。初挑戦の中国語には不安もありましたが、お客様の拍手に楽しく歌わせていただきました。ご指導いただいたバス歌手の周江平さんに感謝しています」と話していました。「大正フロイデ」も4日と5日に同じステージに立ち、西本ひろみさんの指揮で「白帝城」など5

## 本学の本田耕一教授 豊中市教育委員長に

豊中市教育委員会は5月19日、教育委員長を選出するための委員会を開き、本学教授の本田耕一教育委員を教育委員長に選びました。

本田教授は06年12月から教育委員を務めてきました。教育委員長は委員5人による互選で、教育委員長任期は5月27日から来年5月26日までの1年間です。

### 本田教授の話



豊中市長が掲げる都市像の第一番目は「教育文化都市」とよなかの創造。国際教育の推進、中学校少人数学級事業、文化芸術振興基本方針の推進などとともに、本学との連携事業「サウンド・スクール」による「音楽が溢れる学校・園づくり」も重要項目となっています。

重責ではありますが、これら諸事業の実現を目指してがんばりたいと思います。

### 学校法人大阪音楽大学人事

理事 中野寛成、北野徹(いずれも6月30日付) (退任) 日下部吉彦、安則雄馬  
客員教授 日下部吉彦、白井光子(いずれも7月1日付)



## 「Precious」 三村未佳さん

(03年院修)



ニューヨークを拠点に演奏活動する魅惑のマリンバ、ピブラフォン奏者、三村未佳さん(03年院修)が待望のファーストアルバム「Precious」をリリースしました。

本学在学中にジャズ・ピアニスト小曽根真の音楽に出会った三村さん。卒業後はアメリカに渡り、小曽根が卒業したボストンのバークリー音楽大学でジャズを勉強、08年にはニューヨークに拠点を移し、演奏、作曲、編曲などの活動を精力的にこなしています。

「私が作曲するときは、ほとんど誰かに宛てて曲を書きます」という三村さん。アルバムには、CD作成に全面協力した森川寛史さん(01年大卒・作曲)に感謝の気持ちを込めて書いた「Precious」、従姉妹の娘さんへの子守歌「Hitomi」などオリジナル7曲が収められています。

マリンバ奏者、松本真理子さんは「澄み切った音色と行き届いた音遣いに三村さんの優しさが出ています。日本人の心と、外国人の心がうまくコラボし、これまで聴いたことのないような『ミカ・サウンド』の世界を作り出しています」。

CDは2000円。申し込みは三村さんのホームページ

<http://mikamimura.com>へ。

## 「GINGERBREAD BOYS」 権上 康志さん

(06年短卒・コントラバス)



ベースist・権上康志さん(06年短卒・コントラバス)率いるジャズ・バンド「GINGERBREAD BOYS」が、グループ名と同じタイトルのファースト・アルバムをリリースしました。

「GINGERBREAD BOYS」は09年2月に関西の若手ミュージシャン5人で結成されたグループ。現在はライブハウスやフェスティバルなどを中心に活動しており、ハードバップを基調に、現代的なエッセンスを加えたサウンドは高い評価を得ています。

収録8曲。うち7曲はオリジナルで、幻想的なイントロで始まるジャズフルツ「He's Still A Boy」、正統派ハードバップナンバー「Jungle Boat」、権上さんが故郷山口をイメージして作ったバラード「I Was Here Before」などが収められています。

8月から10月にかけて大阪、福岡、名古屋、東京などでCD発売記念ライブが予定されています。

CDの発売元はJAZZ LAB RECORDS。2000円。

申し込み、ライブの問い合わせは [tricrotism@hotmail.co.jp](mailto:tricrotism@hotmail.co.jp) へ。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が、文化庁が実施する「子どものための優れた舞台芸術体験事業」に今年から参加。9月に開かれる本公演に先立ち、7月12日に愛媛県の今治市立今治小学校、13日に香川県の丸亀市立富熊小学校を訪れ、四国の子どもたちにオーケストラの楽しさを伝えるワークショップを行いました。

「子どものための優れた舞台芸術体験事業」は、子どもたちが舞台芸術の鑑賞や実演指導、ワークショップ、共演に参加し、本物の

## オペ管 四国の小学校へ



人気の高かった指揮者体験コーナー

舞台芸術に身近にふれる機会を提供することで、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを

目的にしています。各団体が全国の小・中学校を訪れて

## 子ども体験事業スタイル

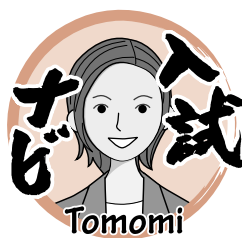
四国一円と兵庫県の小・中学校で全18公演とワークショップを行います。共演演目は「おもちゃのシンフォニー(オーケストラ)」、星条旗よ永遠なれ(吹奏楽)、「ピ

巡回公演を行います。が、公演の2カ月ほど前に会場となる学校を訪れ、ワークショップを開く仕組みになっています。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団は、7月から12月にかけて

リレー(合唱)の3種類を用意しました。どの曲で共演するかは、公演先の学校に選んでもらいます。合唱曲には、ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団も参加します。

「リレー」を選んだ両小学校のワークショップでは、管弦楽団のメンバーがオーケストラについてのお話や楽器の紹介を行い、指揮者体験コーナーで子どもたちに「ミッキーマウス・マーチ」を振ってもらいました。続いて合唱団のメンバーが共演する合唱曲を指導しました。



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。夏休みに入り、高校3年生の方に入試の準備に余念がないことと思います。暑さに負けずに希望の進路に向かい邁進してください。受験勉強はつらく、苦しいですが、悩んでいるのはあなただけではありません。もう一步、上をめざして来年晴れやかな春を迎えられるよう、あきらめずに勉強、練習に励んでください。

## オープンキャンパス

10月11日(月)に今年度2回目のオープンキャンパスを開催します。当日は体育の日ですが本学では平常授業を行います。演習や講義など、さまざまな授業を見学していただくことができます。普段のままの音大の姿を見ていただく絶好の機会です。個性豊かな先生や、真剣に学ぶ学生の姿をおしえてキャンパスライフを体験してみましよう。

オペラハウスでは、09年度大学卒業生で「最優秀賞」受賞者によるコンサートを行います。その他、

施設見学や個別相談を行います。奮ってご参加ください。

## 短大進学実技適性テスト

11年度大阪音楽大学短期大学部公募推薦入学試験における「専門実技認定制度(専門実技免除)」に基づき短大進学実技適性テストを実施します。

**実施日** 9月19日(日)

**申込期間** 9月3日(金)～9月6日(月) 郵送必着

9月7日(火) 9時～15時 窓口持参のみ

## 受験資格

高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者  
(社会人を含む)

## 体験レッスン&学校説明

今年度各地で開催している体験レッスン&学校説明「Toshiba 大阪音楽大学」を、9月23日(木)にイケアタ光音堂(滋賀県長浜市)で開催します。本学教員による実技レッスン(声楽、ピアノ、電子オルガン、ユーフォニウム、サクソフォーン)と、学校説明、ミニコンサートを行います。音楽大学をめざす中学・高校生の皆さん、ぜひこの機会にレッスンを体験してみませんか。申込方法等詳細はホームページをご覧ください。



## はびきの市民大学・聴講記

西洋音楽史(講師・白石知雄)

## 現代音楽入門「実験音楽」

ヨーロッパでは戦後、様々な実験音楽が出現しました。イタリアの作曲家L・ベリオ(1925-2003年)は人間の色々な声を組み合わせて「セクエンツィア第3番」(1966年)を発表しました。笑い声、ため息や舌打ちなど、声の高さを整えて歌う従来のベルカント唱法を大胆に踏み越える多彩な「声」に溢れる作品です。

ドイツの作曲家K・シュトックハウゼン(1928-2007年)の「少年の歌」(1955/56年)は、シンセサイザーの電氣的に合成した音(電子音)と子どもの声を、録音・合成しています。磁気録音テープの編集という当時の最新技術を使った未来型の音楽。現在のコンピュータ上の音楽編集の先駆けです。

実験音楽の情報センターの役目

## ナチスへの反省引き金

を果たしたのが、1946年、占領軍の肝いりでドイツに開設されたダルムシュタット音楽研究所でした。各国の若い作曲家が集まる講習会は現在も続いています。

第2次世界大戦が終わって、当時は、音楽の分野でもナチスへの反省が急務でした。

ヒトラーは20世紀の新しい音楽をドイツ国民にはふさわしくない退廃と見なして、弾圧しました。ナチスによってやり玉に上げられたひとりにはP・ Hindemith(1895-1963年)。世の中の出来事を音楽にしようとした人で

す。室内音楽第1番の第4楽章「1921年」では街の喧騒、サイレンの音が登場します。勇ましい音楽で観客を鼓舞するワーグナーの「ローエングリン」などを健全とするナチスにとって、Hindemithは「ふざけた音楽」でした。

美しい音への感動におぼれて私たちは間違った。その反省が戦後の禁欲的な実験へと作曲家を駆り立てました。実験は極端ですが、ぎだったと言うのは簡単ですが、彼らの動機、真剣な思いを忘れてはならないでしょう。(おわり)

## 森井さん新人賞 金岡さん奨励賞

第47回なにわ芸術祭クラシック音楽の新人コンクール「新進音楽家競演会」（産経新聞社など主催）が4月27、28日に大阪・サンケイホールブリゼで行われ、森井美貴さん（09年大専修）が声楽の部で新人賞、ピアノ・管弦打楽器の部に出演した金岡宏美さん（大専ピアノ）が新人奨励賞を受賞しました。

### 第47回なにわ芸術祭



新人賞を受賞した森井さんはV・ベッリーニのオペラ「海賊」の中から「その汚れない微笑と」に挑戦しました。狂乱の場ではドラマチックに高い表現力が要求される難しい曲ですが、森井さんは「役になりきり、自分の持ち味を最大限に表現することができました」。

音楽評論家の嶋田邦雄さんは「イタリア語の発声が明瞭で高音

部への移行も自然。歌唱に伴う身体動きも無理がなく、独特の華を作り出していました」と賞賛。新人奨励賞の金岡さんは日本人の曲に挑戦したくて三善晃の「ピアノソナタ 第一楽章」を演奏。理論的な部分と情熱的な部分を併せ持ち変化に富んだ曲ですが、声楽家・天野加代子さん（75年大卒）は「金岡さんはこの曲を見事に弾き、審査員をうならせました」。

### 畠山歩美さんの 香港奮闘記

なんと、香港日本人小学校に「ミューズ」が届きました。香港で読む大学広報誌は、一時帰国の時に実家で読む月遅れのものとは大違い。日本の読者の方と同じ様にリアルタイムに読むことができ、とてもワクワクします。でも、海外便は送料にお金がかかるので、お気遣いなく。

新任先生、4月から吹奏楽部を担当することになりました。週3日練習があるのですが、トラン

ペットなど金管楽器を初めて手にする子どもたちは、どんな音が出るのか興味津々。私もヴァイオリンを初めて手にしたときなど、嬉

### コンクール（敬称略）

第12回万里の長城杯国際音楽コンクールアンサンブル部門一般の部Aピアノ連弾1位、中国駐大阪総領事賞 伊藤愛、上高祐子（いずれも05年大卒・ピアノ）2位 西山亜弓（02年大卒・ピアノ）3月31日、ピッコロシアター。

伊藤愛

上高祐子

西山亜弓

内藤里美

佐々木美穂



第30回来音会ピアノコンクール E級 銅賞 佐々木美穂（梅花高校1年）3月26日、池田市・アゼリアホール。来音会主催

### 吹奏楽部を担当



しくてしょうがなかったことを思い出します。声楽が専門の私にとって吹奏楽はわからないことだらけ。楽器も

吹いたことのないものばかりなのですが、それでも子どもたちは「先生が練習を見てくれないと、うまく吹けなく」と、かわいいことをいってくれます。全然吹けなく

中国音楽理事会主催 第29回飯塚新人音楽コンクール 声楽部門1位、文部科学大臣賞、朝日新聞社賞、飯塚市長賞 内藤里美（05年院修・ソプラノ）6月6日、飯塚コスモスコモン。飯塚文化協会飯塚など主催 《付属音楽院関係》 第30回来音会ピアノコンクール E級 銅賞 佐々木美穂（梅花高校1年）3月26日、池田市・アゼリアホール。来音会主催

で、泣いてばかりいた男の子が「ド」から「ソ」まで、やっと吹けるようになった時は、本当に嬉しそうに報告しに来てくれたりして。専門の分野でないため、焦っていた自分がいました。曲の仕上がりも大事ですが、今は子どもたちが上手になつていく姿をゆつくり見ていつてあげようと思います。音楽の先生の仕事は演奏の良い悪い以前に、音楽体験を増やしてあげることなんだ、と気づきました。一学期も半分が過ぎました。授業参観や研究授業、子どもの成績付けに追われる日々。そんな時に届いた「ミューズ」。恩師のこと、後輩の活躍ぶりを貪るように読む私。元気をいただきました。



## ショパン生誕200年記念 Approach to Chopin vol.3 民族性

### マズルカは魂の声

講師 横田知子

農民の踊り、マズルカ。貴族が正装して踊るポロネーズ。ショパンは祖国ポーランドの音楽を一生作り続けました。特にマズルカは独特のリズムとメロディーの旋法性が魅力。ショパンの望郷の思い、民族の魂が込められています。今回は5年間ポーランドに留学してその風土になじみ、ショパンの足跡をたどり、民族音楽を体験した横田知子講師がアプローチします。

ポーランドを初めて訪れたのは大学3年生の夏。ポーランド国立ワルシャワ音楽院で開かれた夏期講習に参加しました。ちょうどポーランドが非社会主義国になったところで食料事情は貧しく、空港には武装した兵士の姿も見かけましたが、ノスタルジックな雰囲気にとってもひかれました。大学院修了後、95年から00年まで同音楽院に留学。夏はショパンが若いころ療養で滞在したドウシニキで講習を受け、朝から晩まで音楽に包まれた毎日、すばらしい体験をたくさんしました。なかでも強烈な印象を受けたのは、マゾフシェ民族音楽団、舞踊団のマズルカです。

は地方ごとに特有の衣装をまとう民族音楽団、舞踊団があり、それぞれの音楽、舞曲を持っています。初めてマゾフシェ民族音楽団、舞踊団の練習風景を見させてもらったときは、「これがマズルカか!」と目の覚めるような衝撃を受けました。それまで音楽院でリズムの打ち方や、アクセントなど学んできたものの、自分が同じ場所に立って、踊り手の男女が組み合わさり、想像以上の速さでぐるぐる回る勢いや、リズムを打ち付ける足の蹴りの激しさ、舞曲の持つアクセシ



マゾフシェ民族舞踊団の練習風景

### 望郷の念 音楽に結晶させる

トを肌で感じたことは、演奏家として貴重な体験でした。マズルカの曲想をコンチエルトやワルツ、エチュードの中にまでしのばせ、心の声を吐露していたショパン。

今でもマズルカを弾くときはもちろん、他の作品の中にマズルカ風の曲想が現れると、民族音楽団の体験がふと蘇ります。

ショパンはポーランドを離れてから帰りたいとも帰れず、だからこそ、すてきな音楽があふれるように生まれました。ポーランド独特の音楽、マズルカやポロネーズを一生作り続けたのは、望郷の気持ちが強かったから。舞曲だけではありません。スケルツォ第1番の荒れ狂つような音楽の中間部に、ポーランドのキャロルの旋律が静かに現れます。ポーランドでは今もクリスマスになると子どもたちがそのキャロルを歌ったり、母親が子どもに歌いかけたりしていた



横田知子 大阪音楽大学大学院修了。ポーランド国立ワルシャワ音楽院留学。J・ステルチンスキ氏に師事。留学中シマノフスキ国際ピアノコンクール第3位など入賞。

ます。ショパンも、子どものころの思い出を、作品の中にメモリーとして残したかったのでしょう。病弱で絶えず死と向き合っていたショパンは、音楽の中に魂を込めていました。シューマンがショパンの音楽を「花に隠れた大砲」と書いたように、ポーランド人としての言論や社会活動が抑えられていた当時、ショパンなりの音楽の訴えを作品に潜ませています。ショパンの作品は一見、華麗で繊細なボエムで綴られているように思われがちですが、本当は逆に悲しみだったり、立ち上がるうとする強さだったり、対極のボエムも織り込まれていたのです。

「ポーランド」とは「野の国」という意味。冬が長く暗いので、人々は春を待ちわびる気持ちが強く、5月になると毎分ごとに色が変わるほど野原が一斉に芽吹き始めます。ショパンはAs dur（変イ長調）の調性をとても好んでいました。マズルカ作品59、2やエチュード作品25、1「エオリアン・ハーブ」、バラード第3番など、ショパンのAs durの作品は、いずれものどかな幸福感をたたえています。ショパンにとってAs durはポーランドで過ごした幸せな記憶を呼び覚ます特別な調性だったのでないかという気がします。

# 国際カリヨンの日 博物館で練習



「国際カリヨンの日」を記念して6月19日、JR伊丹駅前のカリヨン・フランドルの鐘の生演奏が行われました。演奏はベルギー在住のカリヨン奏者、松江万里さんと則定まりさん。二人は前日に本学音楽博物館の練習用カリヨンで当日の曲を練習しました。博物館ではカリヨンのワークショップも計画中です。お楽しみに。



## 2011年度ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団 登録正団員募集

ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団登録正団員のオーディションを下記の通り行います。

日程:2010年12月4日(土)

応募資格:40歳までの本学卒業生

募集人数:ソプラノ1人 アルト2人 バス2人

詳細は募集要項をご覧ください。大学ホームページからダウンロードしていただくか、オペラハウス1階事務室でお渡しいたします。開館日時をご確認ください。郵送ご希望の方は、返信用封筒(定型)に80円切手を貼付の上、オペラハウスにお送りください。

<問い合わせ・送り先> 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス<合唱団募集係>

☎06-6336-4521 e-mail:oh\_chor@daion.ac.jp

## 大阪音楽大学後援演奏会

### すみれの里とミュージカル/青春の歌の花束

8月8日(日)13時30分 春野文化センター

入場無料 ウェストサイド物語 ほか

出演 ミュージカル・コース専攻生

☎0539-85-0200 春野文化センター

### 芹澤文美&芹澤佳司ジョイントコンサート

8月22日(日)15時 2000円

兵庫県立美術館「芸術の館」アトリエ

バラキレフ:イスラメイ ほか

☎078-262-0908 兵庫県立美術館

### フレンドシップガラ・コンサート稲美町公演

8月28日(土)14時

一般1500円 小学生以下500円

稲美町文化会館 稲美コスモホール

金川知子 高橋千恵 山口知子 土田景介

三村浩美 森孝裕 神田裕史 大西隆弘

飯川直子

☎079-492-7700 稲美町文化会館

### 友情のサビーナ・オーケストラ コンサート

9月2日(木)19時 2000円~4000円

兵庫県立芸術文化センター大ホール

A・アレグリーニ 内田給理 内藤安佐子

☎06-6844-8787 イタリア生活文化交流協会

### ヘンデル オペラ「ロターリオ」

9月4日(土)15時 5000円

伊丹アイオンニクホール

竹内直紀 端山梨奈 名島嘉津江 迎肇聡

永木るり子 福島紀子

☎0797-71-0832 井上

### Duoのタベ~友情~北浦洋子とその仲間たち

9月9日(木)19時 3000円

兵庫県立芸術文化センター

北浦洋子 島戸祐子 竹内素子

☎078-367-3560 アートフォレスト

### 小杉裕一ピアノリサイタル

9月10日(金)19時 3000円

カワイ表参道 コンサートサロン「パウゼ」

シューマン:アラベスク 謝肉祭

☎03-3320-1671 カワイ音楽振興会

### 阪上和夫と仲間達 大阪音楽大学退任及び古希を記念して

9月19日(日)14時 3000円 オペラハウス

牧野宏子 角地正直ほか門下卒業生 大阪

音楽スクエア ナターリア・コスロヴァ 荒田

祐子 松村英臣 ほか

☎06-6943-1891 関西芸術振興会

### La La Vocal Concert ~ 10周年を迎えて ~

9月20日(月)15時 3000円

イシハラホール

今村悦子 岡崎尚恵 喜多真美 菊池祐子

花熊孝子 高木未知子 田邊郷恵 中津江美

橋本由美 福井景子 藤村江奈奈 宮本佳代子

森本靖子

☎072-673-4063 福島慶子

### バリアフリーコンサート

~語り伝えたい日本のこころ~

9月23日(木)祝 15時

茨木市クリエイティブセンター・センターホール

前売1500円(ペア2500円)当日各500円増

齋藤舞歌 小西潤子 荻原次己 杉元比佐子

花山教子 石原光世 茨木混声合唱団

☎072-622-9928 バリアフリーコンサート企画

### 藤村匠人・長谷智子リトデュオリサイタル

9月26日(日)14時 3500円

ムラマツ・リサイタルホール新大阪

シューマン、ヴォルフ歌曲集

☎0798-43-5272 藤村

### 原真奈美ピアノリサイタル

10月2日(土)19時 3000円

豊中市立ローズ文化ホール

ショパン:スケルツォ バラード ほか

☎06-6151-4134 リサイタル事務局

### 演奏活動50周年記念

池田洋子ピアノリサイタル

10月3日(日)14時 いずみホール 5000円

池田洋子 モーツァルト室内管弦楽団

ショパン:ピアノ協奏曲 第2番 ほか

☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会

### 小谷朋子ピアノリサイタル

10月9日(土)14時 2500円 大阪倶楽部

シューマン:クライスレリアーナ ほか

☎072-293-0488 増田

### 須山知行先生 一周忌追善演奏会

10月24日(日)13時 国立文楽劇場 4000円

松村蓬盟 松尾昌美 北野徹 田中勉 林絹代

星田一山 本多恭盟 中島警子 桐絃社

☎06-6991-2334 中島

### 第19回大阪グヴァントハウス合唱団定期演奏会

10月24日(日)14時 3500円 いずみホール

波多野均 大谷志穂 森敦 木島美紗子

垣内みどり 日下部吉彦

フォーレ:レクイエム ほか

☎075-751-0617 エラート音楽事務所

### 第11回オリゾン演奏会

11月7日(日)17時

茨木市クリエイティブセンター 2500円

楠井淳子 中村典子 松井みさ 小野田享子

安藝清子 梶山拓也 田島亘

☎072-794-3824 梶山

### 幸楽会事務室からお知らせ

8月の開室日 8月5日、19日、26日

いずれも木曜日です。

9月は9月6日から開室いたします。

## 《幸楽会》後援演奏会

### 気ままにファミリーコンサート 音楽のおもちゃ箱

8月14日(土)14時 川西市みつなホール

一般1000円 小・中学生500円

道旗彰子 道旗直紀 道旗維子 道旗良枝

☎072-794-6621 オフィス・ナウ

### 坂口さやかソプラノチャペルコンサート

8月21日(土)18時30分 4000円

リーガロイヤルホテル「ザ・クリスタルチャペル」

坂口さやか 竹村美和子 高城克枝

☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会

### 室内合奏団THE STRINGS第9回定期公演

8月21日(土)14時 神戸市立灘区民ホール

一般2500円 学生2000円 小学生1000円

森季子 植松さやか 武田仁

☎078-203-8038 THE STRINGS事務局

### ショパン・シューマン生誕200周年コンサート

8月29日(日)14時

1000円(小学生・60歳以上500円)

門真市民文化会館ルミエールホール 小ホール

大西奈穂子 山添真希 河野佑美 山添由起

松上真弓 山口知子 北森千晶 貴田藍子

阪田淳子

☎072-856-1672 山添

### 風のうたコンサート ロシアの風 アスラの風

9月5日(日)16時

伊丹市立演劇ホール アイホール

前売2000円 当日1000円 当日500円増

イゴール・ゴルガー 梶本ひろ子 吉川万里

竹口美紀 田中理絵

☎080-5210-1914 梶本

### 音楽の旅

9月12日(日)15時 西宮市プラザホール

一般2000円 高校生以下1000円

斉藤杏子 土岐真弓 廣重祐二 森脇香織

戴西 原真奈美 松永充代 Natsume

☎0798-64-9485 西宮プラザホール

### Simple Gifts

9月25日(土)19時 2000円

兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

伊藤麻希子 伊野波幸 紀之定恵 杉本佳代

野村麻紀子 本多未知子 宮本有起子

瀬戸口文乃 松尾久美子 中村展子 村崎愛

☎06-7177-1792 瀬戸口

### 2本のサクソフォンとピアノによる室内楽

10月3日(日)14時30分 奏美ホール

前売2000円 学生1000円 当日500円増

西田歩美 本田博美 岡部桂永子

☎090-9093-4573 nishidaconcert

### 室内合奏団THE STRINGS「こってこ古典」

10月11日(月)祝 14時

東灘区民センター大ホール(うはらホール)

一般2500円 学生2000円 小学生1000円

柳田耕治 長橋健太 上川忠昭

☎078-203-8038 THE STRINGS事務局

### セルゴピアノコンサート

10月23日(土)13時30分 入場無料

大阪フィルハーモニー会館

青木元子 浅野由香里 岡本ふさ子

佐藤美智 平井仁美 安永愛

(問) danke yukarin427@docomo.ne.jp 浅野

大阪音楽大学の「大学案内 2011」が発行されました。今回から大学案内と入試ガイドを合冊。これ一冊で「大阪音楽大学ってどんなところ?」「音楽大学の学生生活ってどんな感じ?」「受験するにはどんな勉強をすればいいの?」といった受験生のみなさんが抱くさまざまな疑問にお答えできるよう、内容をさらに充実させました。授業、教員、施設をはじめ学生

## 2011年度版「大学案内」完成



寮、奨学金制度など手厚い学修サポート体制、キャリア相談室が行う卒業後の進路支援や、世界に広がる交換留学の提携校もビジュアルで紹介しています。A4判、オールカラーで82ページ。無料。「大学案内」をご希望の方は、はがきに郵便番号、住所、名前を明記の上、大阪音楽大学広報統括室へお申し込みください。



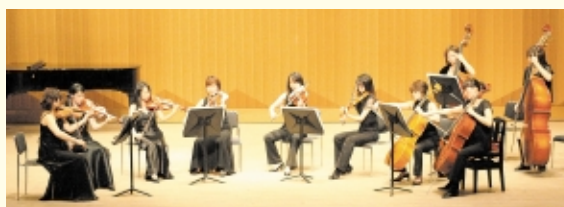
## リポーター 勝山幸菜

私たち大阪音楽大学音楽専攻科の学生は5月28日にミレニアムホールで「スプリング・コンサート」を開きました。

## 大専がスプリング・コンサート

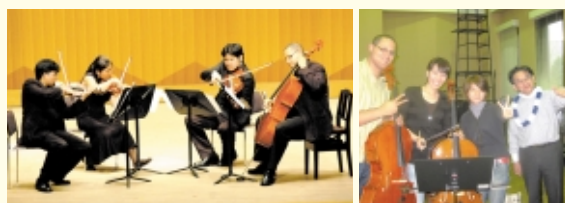
入学してから1カ月余りで迎えた演奏会なので、戸惑いや不安もありましたが、音楽専攻科生全員で助け合い、William Byrd作曲の「The Earle of Oxford's March」などを演奏し無事終えることが出来ました。

プログラムの最後にアンコールとして全員でJ.Straussのオペレッタ「Die Fledermaus」(こつもり)より「乾杯の歌」を演奏したことで、他専攻の学生との仲も深まり、秋のオータム・コンサートに向けて良いスタートが切れたと



大阪音楽大学とハワイ大学の弦楽シンフォニー・コンサート「Sound of 5」が5月29日、ミレニアムホールで行われました。「音楽を通して日本の大学と交流したい」。ハワイ大でヴァイオリンの勉強をする河原麻衣さん(2年)のひと

## ハワイ大と交流演奏会



## 「友情手に入れた」

弦楽アンサンブル。ベートーヴェンの「弦楽四重奏曲第9番 八長調」など4曲を演奏しました。後半は河原結花さんの呼びかけで結成した弦楽専攻生と大学院生10人のアンサンブル。ヴィヴァルディの「春」、芥川也寸志の「弦楽のための三楽章」を演奏、両大学の学生たちがバツハ「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を披露し、演奏会を締めくくりました。「音楽という共通の言葉を通して、友情というすばらしいものを手にしました」と河原結花さん。麻衣さんは「今度は皆さんをハワイに招待します」。

思います。

## 楽器を奏でる人形たち



西岡信雄コレクションより(音楽博物館所蔵)

青銅器時代の祭器  
当時の北欧で使われたルールという儀式用ラッパ。不思議な形に捻じれているのは、マンモスの牙の形を真似たものと考えられています。ノルウェー製。